



取扱説明書

4回線音声応答装置 AT-4000N 〈 本体編 〉

このたびは、「4回線音声応答装置 AT-4000N」をお買い上げいただき、誠にありがとうございます。本書は、本体装置のアプリケーション Ver.1.0.0.0 以降の製品に対応しています。

ご使用前に、この取扱説明書をよくお読みのうえ、内容を理解してからお使いください。お読みになったあとも、本商品のそばなどいつもお手元においてお使いください。

もくじ

安全にお使いいただくために.....	2	保留音機能	26
はじめに	4	保留音の録音	26
		音量を設定する	26
各部の名前とはたらき	8	本装置を更新する	27
各部の名前とはたらき	8	リモコン操作をする	28
ディスプレイの見方	9	リモコンの受付	28
本装置を接続する	10	メッセージの録音	29
回線と電源の接続	10	メッセージの再生	29
保留音としての接続	11	案内メッセージの切り替え	30
外部制御端子	11	応答モードのセット	30
待機画面とディスプレイ	12	応答モードの解除	30
待機画面について	12	タイマーのセット	31
応答件数の表示のしかた	12	タイマーの解除	31
時計を合わせる	13		
装置情報の設定確認	14	故障とお考えになる前に	32
装置情報の登録	14	主な仕様	33
バージョンの確認	18	保証とアフターサービス	裏表紙
メッセージの操作	20		
メッセージの構成	20		
録音の準備	20		
録音する	21		
再生する	22		
消去する	22		
動作ログの保存	23		
応答モードのセット／解除	24		
応答モードにセットする	24		
応答モードを解除する	24		
タイマーのセット／解除	25		
タイマーをセットする	25		
タイマーを解除する	25		

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この「安全にお使いいただくために」をよくお読みのうえ、正しくお使いください。

ここに記載された注意事項は、製品を正しくお使いいただき、使用するかたへの危害や損害を未然に防止するためのものです。安全に関する重大な内容ですので、必ず守ってください。

警告

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。

注意

この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容および物的損害の発生が想定される内容を示しています。

STOP お願い

この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、本装置の本来の性能を発揮できなかったり、機能停止をまねく内容および使用できない機能などの内容を示しています。

ワンポイント

この表示は、本製品を取り扱う上で知っておくと便利な事項、および操作へのアドバイスなどの内容を示しています。



警告 ご使用にあたって



本装置がぬれたり、水が入らないようご注意ください。
また、ぬれた手で本装置を操作しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



本装置のケースをはずしたり、改造しないでください。
火災・感電・故障の原因になります。内部の点検・清掃・修理は、当社「修理センター」にご依頼ください。



本装置の通風口などから、内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落としたりしないでください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。万一、異物が入ったときは、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。



警告 電源について



AC100Vの電源コンセント以外には、絶対に接続しないでください。また、テーブルタップなどを使用したタコ足配線はしないでください。
火災・感電・故障の原因になります。



ぬれた手で電源アダプタを抜き差ししないでください。
感電の原因になります。



電源アダプタは添付のもの以外は使用しないでください。
火災・感電の原因になります。



電源アダプタは大切に扱ってください。
コードの上に重いものをのせたり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねたり、加工や加熱したり、傷つけたりしないでください。コードが破損して、火災・感電の原因になります。コードが傷んだ場合は、当社「修理センター」にご連絡ください。



電源アダプタは、ほこりが付着していないことを確認してから電源コンセントに確実に差し込んでください。また、定期的に電源アダプタをコンセントから抜いて、点検・清掃をしてください。
ほこりにより火災・感電の原因になります。



警告 設置場所や環境について 設置にあたって



本装置のそばに花びん、植木鉢、コップ、化粧品、薬品や水などの入った容器、または小さな金属類をおかないでください。

こぼれたり、中に入った場合、火災・感電・故障の原因になります。万一、異物が入った場合は、電源アダプタをコンセントから抜いて、当社「修理センター」にご連絡ください。



ぐらついた台の上や傾いた所など、不安定な場所に置かないでください。

倒れたり、落下してけがの原因になります。



風呂場や加湿器のそばなど、湿度の高いところでは使用しないでください。

火災・感電・故障の原因になります。



警告 こんなときは（対処のしかた）



雷が鳴り出したら、本装置や電源アダプタには触れないでください。

落雷による感電の原因になります。



動作が異常、音が出ないなど故障状態のままで使用しないでください。

すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



煙が出ている、変な臭いがするなど異常状態のまま使用しないでください。

すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、煙がなくなることを確認して当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



内部に水が入った場合は、使用しないでください。

すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



本装置を落としたり、ケースを破損した場合は、使用しないでください。

すぐに電源アダプタをコンセントから抜き、当社「修理センター」に修理をご依頼ください。そのまま使用すると、火災・感電の原因になります。



床や壁の掃除などによって、電源アダプタやモジュラージャックに洗剤・ワックスなどが付着しないようにしてください。

付着した場合にはすぐに拭き取ってください。そのまま使用すると、火災の原因になります。



注意

使用方法・設置環境について



直射日光の当たる場所や温度の高いところに置かないでください。

内部の温度が上がり、火災の原因になります。



密閉したところに置かないでください。また、テールブルクロスや座布団などで通風口をふさがないでください。

内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。



長期間で使用にならないときは、安全のため必ず電源アダプタをコンセントから抜いてください。

絶縁劣化による感電や、漏電・火災の原因になることがあります。



お願い

使用方法・設置環境について



落としたり強い衝撃を加えないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。



ベンジン、シンナー、アルコールなどでふかないでください。

汚れがひどいときは、薄い中性洗剤をつけた布をよくしぼって汚れを拭き取り、柔らかい布でカラぶきをしてください。



極端に寒いところ、ちりやほこり・鉄粉・有毒ガスなどが発生する場所に置かないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。



テレビ・ラジオ・こたつ・アンプ・スピーカボックス・電気カーペットの上など磁気を帯びているところや電磁波が発生しているところに置かないでください。

機器の破損・故障の原因になることがあります。

- この装置は、クラス A 機器です。この装置を住宅環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。 VCCI-A
- 本装置の仕様は国内向けになっていますので、規格の異なる海外でご使用いただくことはできません。
This device is designed to use only in Japan so that the use of the equipment is prohibited in foreign countries.
- この取扱説明書、ハードウェア、ソフトウェアおよび外観の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 共同電話、公衆電話、地域集団電話ではご使用になれません。
- 正常な使用状態で本装置に故障が生じた場合、当社は本装置の保証書に定められた条件に従って修理いたします。
ただし、本装置の故障・誤動作または不具合により、通話などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

はじめに

- 「4 回線音声応答装置 AT-4000N」（以下、「本製品」、「本装置」、「本体装置」、または「AT-4000N」と記します）の取扱説明書は、本書「本体編」と別冊「データ入力ソフト編」の2分冊の構成になっています。
AT-4000N 本体の取扱いについては「本体編」を、制御用パソコンの取扱いについては「データ入力ソフト編」をご覧ください。
- 「データ入力ソフト編」については、本製品の添付品 DVD における電子媒体でのご提供となっております。紙媒体では提供していないため、あらかじめご了承ください。
- 本書の「安全にお使いいただくために」は、取扱説明書「データ入力ソフト編」をご使用いただくときにも合わせて必ずお読みください。

■ 添付品の確認

本製品には、以下の添付品があります。次のものがそろっていることをご確認ください。

品名	数量	備考
本体	1	
AT-4000N データ入力ソフト	1	DVD 注1
電源アダプタ	1	注2
SD カード	1	
モジュラーコード	4	3m
取扱説明書	1	本書

注1 取扱説明書「データ入力ソフト編」を含む。

注2 製品に同梱された電源アダプタは、本装置専用です。
他の製品に使用しないでください。

万一、添付品に足りないものがあったり、取扱説明書に落丁・乱丁があったときは、販売店または当社営業所へご連絡ください。当社営業所については当社ホームページの「営業拠点」をご覧ください。

【タカコムホームページアドレス】

<https://www.takacom.co.jp>

■ 取扱説明書について

本製品の取扱説明書は、「本体編」および「データ入力ソフト編」の2分冊で構成されています。

- 「本体編」は、本体装置の接続方法や設定・操作のしかたなどが記載されています。
紙媒体で提供されています。
- 「データ入力ソフト編」は、AT-4000N データ入力ソフト（以下「本ソフト」、または「入力ソフト」と記します）のセットアップから起動・終了のしかた、メッセージの作成方法などについて記載されています。
電子媒体で提供されています。

■ 取り付けについて

- 共同電話、公衆電話、地域集団電話にはご使用になれません。
- 規格の異なる海外ではご使用になれません。

■ 停電について

- 停電すると本装置は着信に応答しません。回線に応答中の場合は、停電と同時に回線への応答を終了します。
- 内蔵の時計は停電時でも保持されます。
（保持期間：約7年）
- 停電しても録音内容や各種データが消えることはありません。
- タイマー運用中に停電して、停電復旧した場合は、停電復旧した時点に対応したタイマー動作になります。

■ メッセージデータについて

本装置は、あらかじめ録音されているメッセージ（※）以外に、任意に作成したメッセージが使用できます。このメッセージは、本体装置で録音するほかに、入力ソフトを使用して作成できます。メッセージの作成方法は、「音声合成」、「マイクなどからの録音」、「音声取込」があります。

このメッセージにおいて、「音声合成」により作成された音声データは、本装置以外の製品などにおいて使用および利用できません。

※「ただいま、電話に出ることができません。恐れ入りますが、改めてお電話をいただきますようお願いいたします。」

● メッセージの種類

本装置で使用するメッセージは、最大20ch分の案内メッセージ（ch1～ch20）と、1ch分の挨拶メッセージ（ch21）、1ch分の終了メッセージ（ch22）および、1ch分の保留音（ch23）が録音できます。

■ SD カードについて

添付されているSDカードを使用してください。ただし、市販のSDカードを使用する場合は、以下のSDカードを使用してください。

【使用可能なSDカード】

- 容量：1GB～32GB

（容量の違いでメッセージの録音可能時間は変わりません）

※ UHS-IIIは使用できません。

※ すべてのSDカードの動作を保証するものではありません。正しく認識できない場合は、別のSDカードをお使いいただけますようお願いいたします。



ワンポイント

- 本装置はFAT32のファイルシステムのSDカードに対応しています。SDカードをフォーマットする場合は、FAT32のファイルシステムでフォーマットしてください。FAT32以外のファイルシステムのSDカードは使用できません。

● 録音できるメッセージについて

本装置で使用するSDカードには最大100分、23件のメッセージが録音できます。



ワンポイント

- 録音されたメッセージが23件に満たない場合でも、合計した録音時間が100分を超えている場合は録音できません。
- メッセージの録音時間は、SDカードの容量に関係なく、最大100分です。



お願い

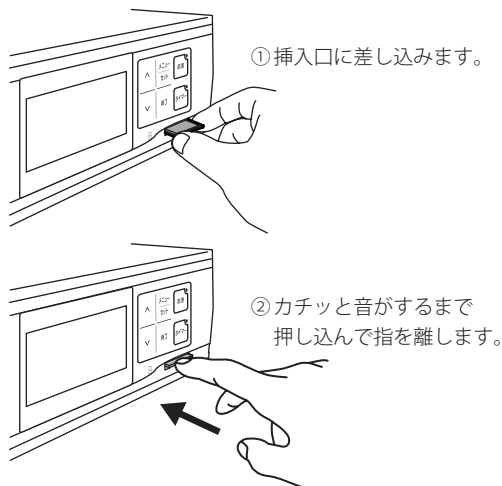
- 本装置で利用したSDカード内のファイルを入力ソフト以外の操作により編集したり、追加や削除をしないでください。本装置で正常に読み取ることができなくなります。

● 本体装置に入れる

SDカードのライトプロテクトがロックされていないことを確認して、表面を上にしてSDカード挿入口に差し込みます。奥までしっかり差し込みます。

※ カチッと音がして、カードが少し戻ります。

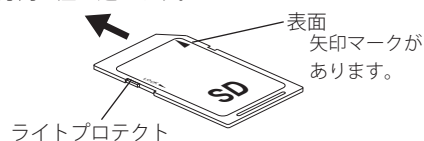
本体装置前面



STOP お願い

- 差し込む方向と表裏を間違えないように注意してください。間違えると機器を破損することがあります。

この方向に差し込みます。

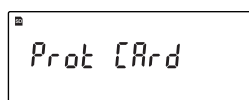


- 本装置では、SDカードのライトプロテクトがロックされた状態では使用できません。必ずロックを解除してセットしてください。
- 差し込んだとき、ディスプレイにエラーが表示された場合は、もう一度差しなおしてください。



ワンポイント

- ライトプロテクトがロックされたSDカードを差し込むと、スピーカから警報音（「ピピピピ」）が鳴って、ディスプレイは以下の表示になります。



・応答ランプおよびタイマーランプが点滅します。

ワンポイント

- SD カードが入っていない、または入っていても入り方が完全でない場合、スピーカから警報音（「ピピピピ」）が鳴って、ディスプレイは以下の表示になります。

no [Ar]d

・応答ランプおよびタイマーランプが点滅します。

- 市販で購入された SD カードをそのまま差し込むと、ディスプレイは以下の表示になります。

no dAtA

・応答ランプおよびタイマーランプが点滅します。

このときは、入力ソフトにより作成した各種のデータもしくは、工場出荷時のデータを SD カードに書き込んでください。詳細は「データ入力ソフト編」を参照してください。

● 本体装置から取り出す

本体装置が待機画面で、ディスプレイの SD カードマークが点滅していないことおよび、タイマーランプが点灯していないことを確認します。

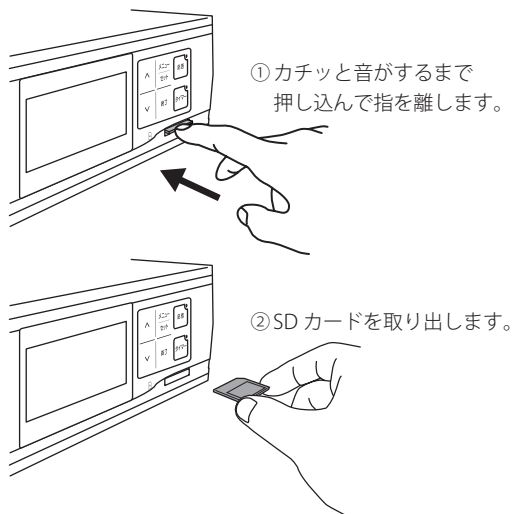
※ 本装置が回線に応答中やタイマーランプが点灯中およびリモート点滅中は、SD カードを取り出したり、電源アダプタを抜かないでください。内部のデータが壊れることがあります。

SD カードを押し込みます。

※ カチッと音がしたら、指を離します。

SD カードをつまんで取り出します。

本体装置前面

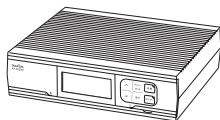


■ お使いになる前の手順

● 本体装置だけでご使用になる場合

本装置の「リモコン機能」「タイマー機能」を使用しない場合は、本体装置のみでご使用になれます。

【本体装置での操作】



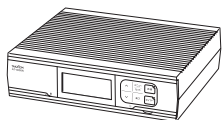
《取扱説明書 本体編》

- 1 はじめに（5 ページ）
SD カードを本体装置に差し込みます。
- 2 時計を合わせる（13 ページ）
本体装置の年月日・時刻を設定します。
- 3 メッセージの操作（20 ページ）
メッセージを本体装置に録音します。
- 4 応答モードのセット（24 ページ）
応答モードにセットします。

● 制御用パソコンをご使用になる場合

本装置を、「リモコン機能」「タイマー機能」などの各機能を使用して運用される場合は、本体装置と制御用パソコンを使用します。

【本体装置での操作】



【制御用パソコンでの操作】



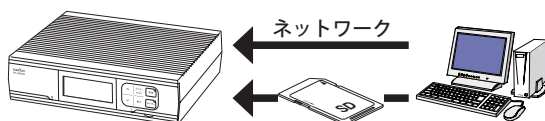
《取扱説明書 本体編》

- 1 はじめに (5 ページ)
SD カードを本体装置に差し込みます。
- 2 時計を合わせる (13 ページ)
本体装置の年月日・時刻を設定します。
- 3 装置情報の設定確認 (14 ページ)
制御用パソコンから直接本体装置にデータを書き込む場合は、IP アドレスなどの装置情報を設定します。
- 4 メッセージの操作 (20 ページ)
必要に応じて、メッセージを本体装置に録音します。

- 5 はじめに (6 ページ)
ネットワークを使用せずSDカードを使用してデータを書き込む場合は、SD カードを本体装置から取り出し制御用パソコンにセットします。

《取扱説明書 データ入力ソフト編》

- 1 メッセージを編集する (10 ページ)
メッセージを編集します。
- 2 スケジュールを編集する (22 ページ)
タイマー運用時の日課パターンと年間スケジュールを作成します。
※本ソフトにはあらかじめ曜日スケジュールと祝日スケジュールが登録されています。日課/パターンを編集するだけで年間スケジュールがご活用いただけます。
- 3 機能設定を登録する (34 ページ)
回線の設定内容やリモコン機能などの機能を登録します。
- 4 ファイル管理 (36 ページ)
ネットワークを使用する場合は、直接本体装置にデータを書き込みます。
SD カードを使用する場合は、SD カードにデータを書き込みます。

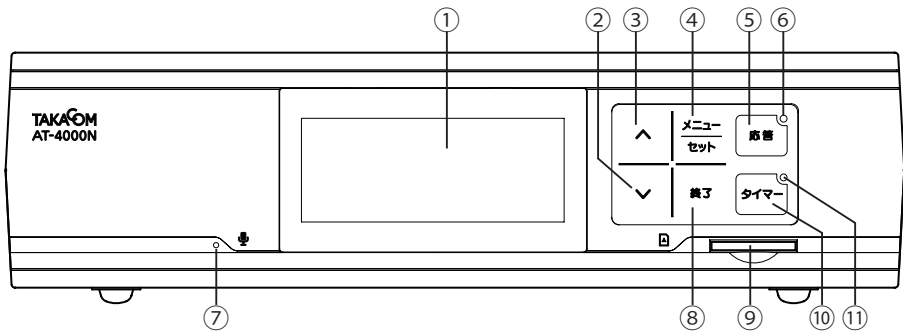


- 6 応答モード／タイマーのセット (24,25 ページ)
SD カードを使用する場合は、SD カードを挿入して応答モード／タイマーにセットします。
- 5 運用管理 (45 ページ)
ネットワークを使用する場合は、本体操作画面から応答モード／タイマーにセットします。

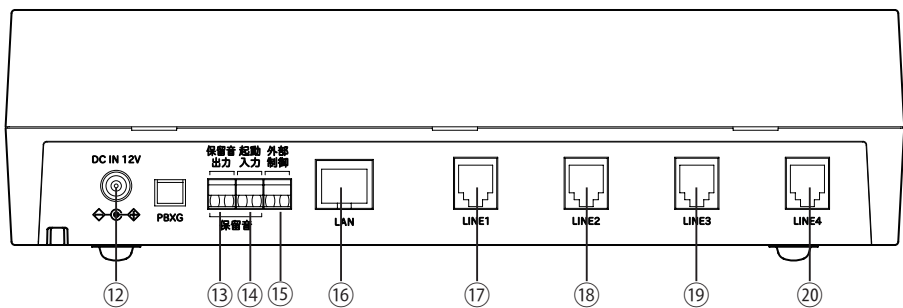
各部の名前とはたらき

各部の名前とはたらき

■ 前面



■ 後面



番号	名称	主なはたらき
①	ディスプレイ	現在時刻や各種設定時にはその内容を表示します。録音再生中は録音時間や再生時間を表示します。
②	下ボタン (▼)	登録時に項目を選択するときに使用します。
③	上ボタン (▲)	
④	メニュー/セットボタン (メニュー / セット)	登録画面を切り替えるときや入力した値を決定するときに押します。
⑤	応答ボタン (応 答)	応答モードにセットするときに押します。
⑥	応答ランプ	応答モードのとき点灯します。
⑦	内蔵マイク	内蔵マイクの開口部です。
⑧	終了ボタン (終 了)	各種の動作を終了するときに押します。
⑨	SD カード挿入口	SD カードを挿入します。
⑩	タイマーボタン (タイマー)	タイマーをセット／解除するときに押します。
⑪	タイマーランプ	タイマーモードのとき点灯します。

番号	名称	主なはたらき
⑫	電源アダプタジャック	添付の電源アダプタを接続します。
⑬	保留音出力端子	保留音用メッセージをビジネスホンや交換機へ出力します。※ 1
⑭	保留音起動端子	ビジネスホンや交換機からの保留音起動信号を接続します。※ 1
⑮	外部制御端子	応答の入り / 切りを外部から行うときに制御信号を接続します。※ 2
⑯	LAN コネクタ	ネットワーク (LAN) に接続して制御用パソコンを使用するときに、LAN ケーブルを接続します。
⑰	回線接続ジャック (LINE1)	電話回線を接続します。 (6 極 2 芯モジュージャック)
⑱	回線接続ジャック (LINE2)	
⑲	回線接続ジャック (LINE3)	
⑳	回線接続ジャック (LINE4)	

※ 1 接続については、「本装置を接続する 保留音としての接続」(11 ページ) を参照してください。

※ 2 接続については、「本装置を接続する 外部制御端子」(11 ページ) を参照してください。

ディスプレイの見方



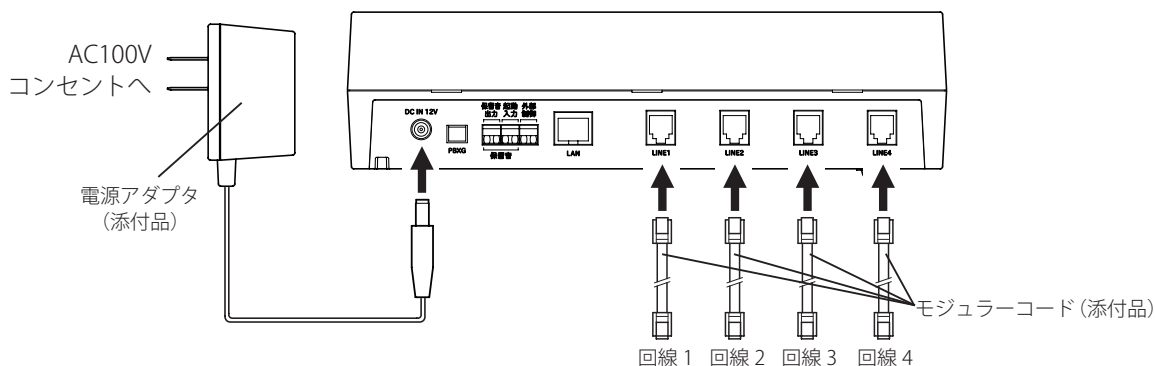
①	(SD カード)	SD カードが挿入されていることを表します。SD カード挿入中に点灯します。
②	(暗証番号)	暗証番号が登録されているときに点灯します。
③	ch	カウンタ⑨の上2桁がメッセージを選択しているときに点灯します。
④	リモート	制御用パソコンからネットワーク接続中やリモコン操作中に点滅します。
⑤	(保留音)	保留音が録音されているときに点灯、送出しているときは点滅します。
⑥	件	カウンタ⑨の上4桁目から7桁目までで応答件数を表示しているときに点灯します。
⑦	月～日	曜日を表示しているときに点灯します。
⑧	LINE1,2,3,4	対応する回線 (LINE) の状態を表示します。ベル着信中に点滅して、応答中は点灯します。
⑨	8888888888888888 (カウンタ)	ch、応答件数、時刻、年月日・時刻、録音時間、IP アドレスを表示しているときに点灯します。(12 桁)
⑩	LINE	応答件数の回線選択時に点灯します。

⑪	VOL	再生音量を表示しているときに点灯します。
⑫	応答解除	応答モードを解除するときに点滅します。
⑬	年・月・日	カウンタ⑨の数値と合わせて、西暦での年月日および待機画面で月日を表示しているときに点灯します。
⑭	消去	メッセージを消去するときに点滅します。
⑮	登録	時刻や機能設定などを登録中のときに点灯します。
⑯	分・秒	カウンタ⑨の下4桁が録音時間や再生時間を表示しているときに点灯します。
⑰	録音	メッセージを録音しているときに点滅します。
⑱	再生	メッセージを再生しているときに点滅します。

本装置を接続する

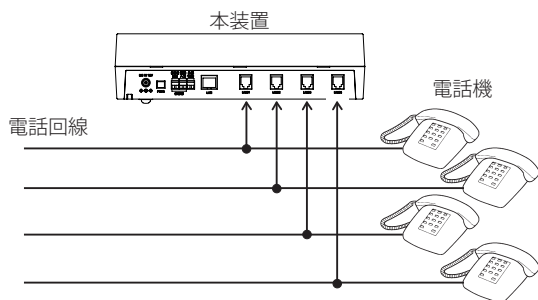
本装置を使用するにあたり、本書および接続機器の取扱説明書をよくお読みになって接続してください。
間違った接続をした場合、本装置の故障や誤動作の原因となるだけでなく、回線設備や接続機器側の故障の原因になる可能性があります。

回線と電源の接続

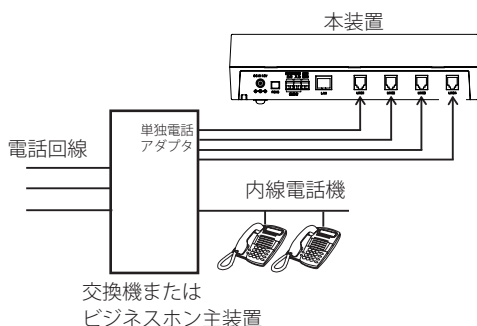


■ 回線の接続例

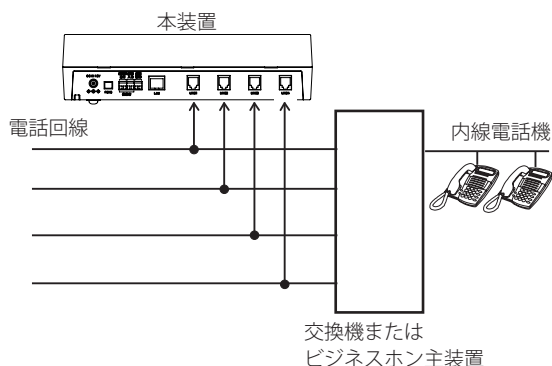
● 単独回線の場合



● 交換機またはビジネスホンの内線接続の場合



● 交換機またはビジネスホンの外線接続の場合



電話着信時に応答しないときは・・・

ビジネスホンの単独電話アダプタや交換機の内線側などに接続したときに着信動作しない場合は、入力ソフトにより詳細設定の内容を変更してください。詳細は、データ入力ソフト編の取扱説明書「機能設定を登録する 詳細設定」を参照してください。

①「回線一種別」を「通常回線」に変更します。

※ 変更後も着信動作しない場合は、

②「その他ダイヤル起動防止」を「無効」に変更します。

③「ベル検出ーベル OFF 時間」を「100ms」に変更します。

状態が改善されない場合は、最寄の当社営業所へお問い合わせください。

ワンポイント

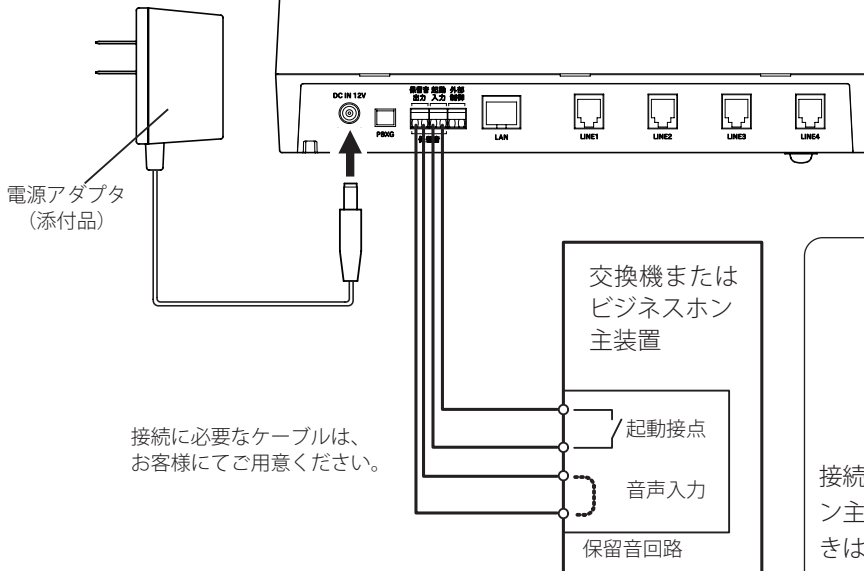
- 本装置には電源ボタンはありません。電源アダプタ（添付品）を本体（後面）の電源アダプタジャックと電源コンセントに差し込むことで、使用可能になります。

STOP お願い

- モジュラーコードを差し込むときは「カチッ」と音がするまで差し込んでください。
- モジュラーコードを引き抜くときは、レバーを押さながら引き抜いてください。

保留音としての接続

AC100V コンセントへ



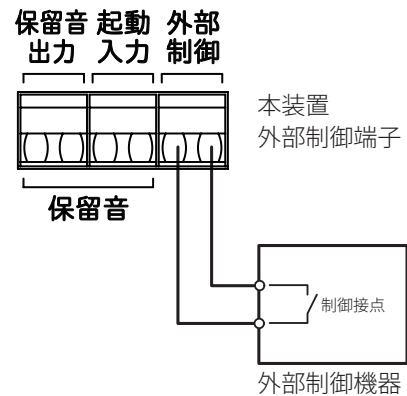
接続する交換機またはビジネスホン主装置に「起動接点」がないときは、本装置の保留音起動端子をショートしてください。

外部制御端子

- 外部制御機器の接点が ON になると、本装置が応答モードにセットされます。
- 外部制御機器の接点が OFF になると、応答モードが解除されます。
※ 手動で応答モードを解除する場合は、「応答モードを解除する」（24 ページ）を参照してください。再度、接点が OFF から ON になると応答モードにセットされます。

ワンポイント

- 本装置がタイマー解除中のときに、外部制御端子への接点入力ができます。（タイマーセット中は、接点入力できません）

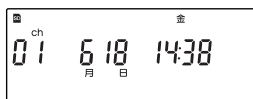


待機画面とディスプレイ

待機画面について

本体装置の電源を入れたときに、しばらくするとディスプレイに待機画面が表示されます。本体装置の各種の設定を行うときは、待機画面が表示されていることを確認してください。

【待機画面例】



消灯しています。



消灯しています。



ワンポイント

- 応答モードを解除する場合は、「応答モードのセット／解除」(24 ページ) を参照してください。
- タイマーモードを解除する場合は、「タイマーのセット／解除」(25 ページ) を参照してください。

■ 本体装置のメニュー操作項目について

待機画面中に **メニュー/セット** を押して、**↑** や **↓** を操作して表示されるメニュー項目は以下になります。

メニュー項目	説明	参照ページ
1. SET	P01 現在の年月日・時刻を設定します。	13
	P02 本体装置の IP アドレスを設定します。	14
	P03 本体装置のサブネットマスクを設定します。	15
	P04 本体装置のゲートウェイを設定します。	16
	P05 本体装置のポート番号を設定します。	17
	P06-0x ※ 保留音出力端子から出力する保留音の音量を設定します。	26
2. REC	メッセージを録音・消去します。	21,22
3. PLAY	メッセージを再生します。	22
4. LOG	本体装置の動作ログを SD カードに保存します。	23

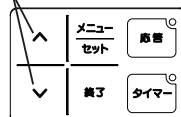
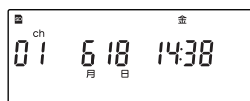
※ 0x：音量を 00 ～ 06 で表示します。

応答件数の表示のしかた

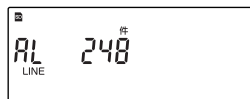
1

待機画面や応答モード中、タイマーセット中に **↑** や **↓** を押すと、応答件数が確認できます。

押します。



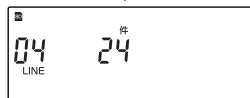
・表示内容は以下のとおりです。



AL：全回線の合計



01：回線 1 の応答件数



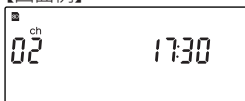
04：回線 4 の応答件数



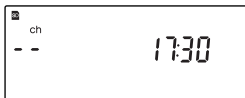
ワンポイント

- 応答件数は応答モードが解除されるまで、各回線ごと最大 9,999 件までカウントします。
(全回線合計表示も最大 9,999 件まで表示)
- 応答モードをセットすると応答件数がクリアされます。
- タイマーセット中は応答件数のほかに、次回応答 ch と時刻が表示されます。

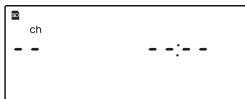
【画面例】



応答ch02 / 応答時刻 17:30



応答解除 / 解除時刻 17:30



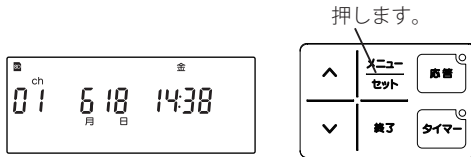
次回スケジュールなし

時計を合わせる

内蔵の時計に、現在の日付と時刻を登録します。タイマー機能を使用しないときは時刻を合わせなくても本装置を使用できます。

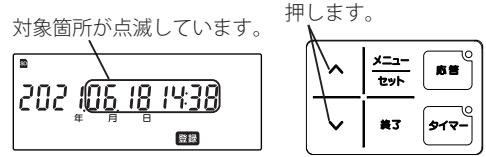
例) 2021 年 6 月 18 日 14 時 40 分に合わせます。

- 1** 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



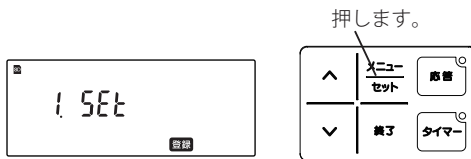
・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 6** 手順 4, 5 を繰り返して、月・日・時・分を合わせます。



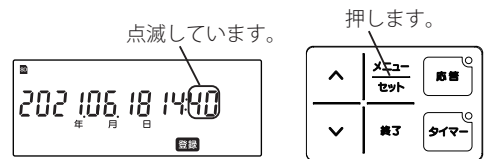
・対象箇所が点滅します。

- 2** **メニュー/セット** を押します。



・機能番号選択表示になります。

- 7** **メニュー/セット** を押します。



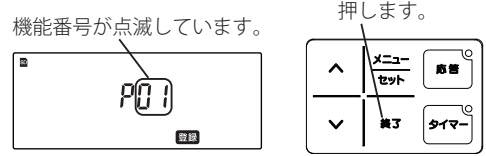
・「ピー」となって年月日・時刻が登録されます。
・機能番号選択表示になります。

- 3** **メニュー/セット** を押します。



・機能が点滅します。

- 8** **終了** を 2 回押します。



・待機画面が表示されます。

- 4** **↑** や **↓** を押して、年を合わせます。



・年が点滅します。

- 5** **メニュー/セット** を押します。



・月が点滅します。

ワンポイント

- 年月日・時刻の登録範囲は次のとおりです。
年：西暦 2000 年～2099 年
月：1 月～12 月
日：1 日～31 日（年月に対応した最大日）
時：00 時～23 時の 24 時間制
分：00 分～59 分
- お買い上げ時は、当日の年月日・時刻を表示します。時報などを参考にして実際の時刻と誤差がある場合は、合わせてください。

装置情報の設定確認

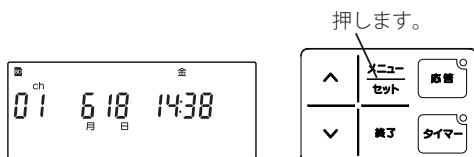
制御用パソコンにインストールされた入力ソフトとネットワーク通信するための IP アドレスを設定したり、本装置の製品バージョンが確認できます。

装置情報の登録

(IP アドレスが「192.168.14.38」の場合の例)

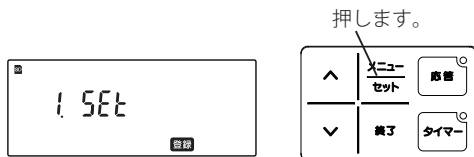
■ IPアドレスの登録

1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



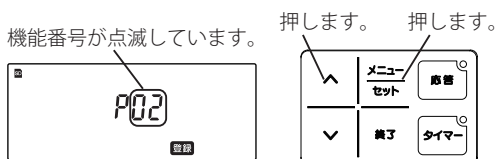
- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

2 **メニュー/セット** を押します。



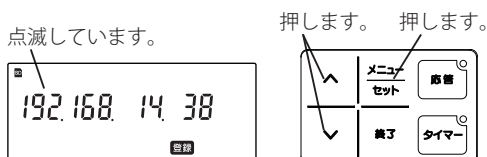
- ・機能番号選択表示になります。

3 **↑** を押して、機能番号 02 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



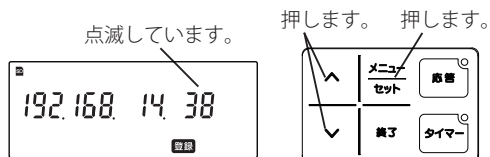
- ・「IP アドレス」の登録画面になります。
(初期値：192.168. 0.150)
- ・第 1 オクテットが点滅します。

4 **↑** や **↓** を押して、「第 1 オクテット」を更新して、**メニュー/セット** を押します。



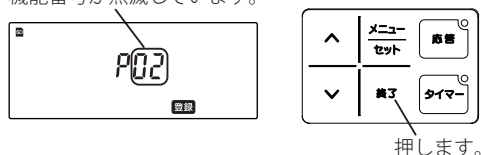
- ・第 2 オクテットが点滅します。

5 同様に「第 2→第 3→第 4 オクテット」の順に登録します。



- ・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

6 **終了** を 2 回押します。
機能番号が点滅しています。



- ・自動で本装置が再起動されます。
- ・再起動後に待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順 6 で **↑** や **↓** を押して、機能番号を変更することで、サブネットマスクやゲートウェイ、ポート番号が変更できます。

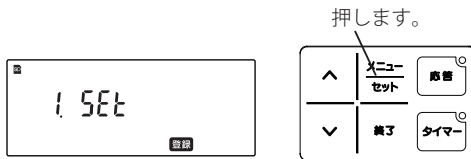
■ サブネットマスクの登録

1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



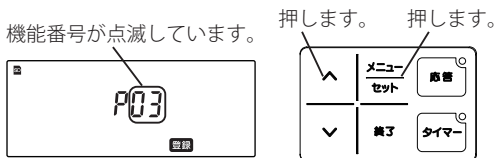
- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

2 **メニュー/セット** を押します。



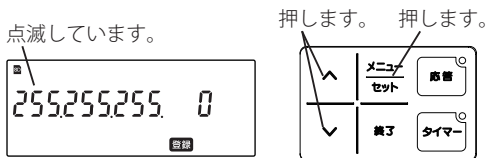
- ・機能番号選択表示になります。

3 **↑** を押して、機能番号 03 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



- ・「サブネットマスク」の登録画面になります。
(初期値：255.255.255.0)
- ・第1オクテットが点滅します。

4 **↑** や **↓** を押して、「第1オクテット」を更新して、**メニュー/セット** を押します。



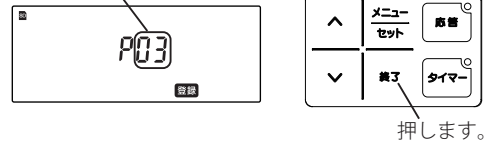
- ・第2オクテットが点滅します。

5 同様に「第2→第3→第4オクテット」の順に登録します。



- ・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

6 **終了** を2回押します。
機能番号が点滅しています。



- ・自動で本装置が再起動されます。
- ・再起動後に待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順6で **↑** や **↓** を押して、機能番号を変更することで、IPアドレスやゲートウェイ、ポート番号が変更できます。

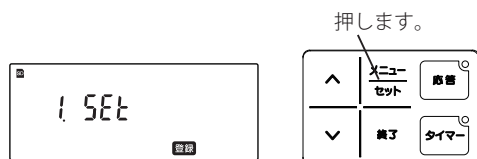
■ ゲートウェイの登録

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



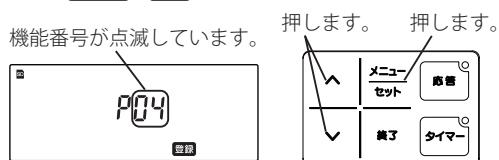
- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **メニュー/セット** を押します。



- ・機能番号選択表示になります。

- 3 **↑** や **↓** を押して機能番号 04 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



- ・「ゲートウェイ」の登録画面になります。
(初期値：0.0.0.0)
- ・第1オクテットが点滅します。

- 4 **↑** や **↓** を押して、「第1オクテット」を更新して、**メニュー/セット** を押します。



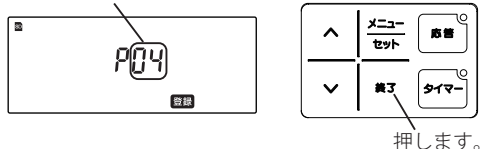
- ・第2オクテットが点滅します。

- 5 同様に「第2→第3→第4オクテット」の順に登録します。



- ・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

- 6 **終了** を2回押します。
機能番号が点滅しています。



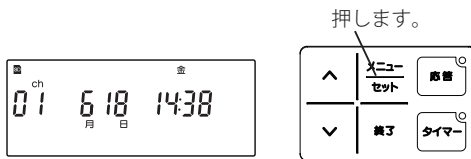
- ・自動で本装置が再起動されます。
- ・再起動後に待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順6で **↑** や **↓** を押して、機能番号を変更することで、IPアドレスやサブネットマスク、ポート番号が変更できます。

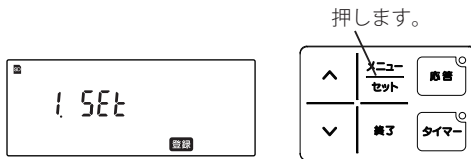
■ ポート番号の登録

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



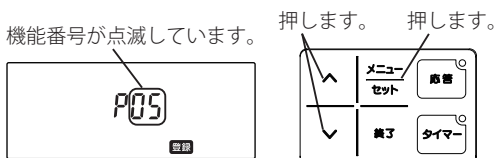
- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **メニュー/セット** を押します。



- ・機能番号選択表示になります。

- 3 **↑** や **↓** を押して、機能番号 05 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



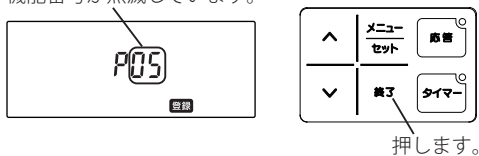
- ・ポート番号が点滅します。
(初期値：55500)

- 4 **↑** や **↓** を押して、ポート番号を更新して、**メニュー/セット** を押します。



- ・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

- 5 **終了** を 2 回押します。
機能番号が点滅しています。



- ・自動で本装置が再起動されます。
- ・再起動後に待機画面が表示されます。

ワンポイント

- 手順 5 で **↑** や **↓** を押して、機能番号を変更することで、IP アドレスやサブネットマスク、ゲートウェイが変更できます。

バージョンの確認

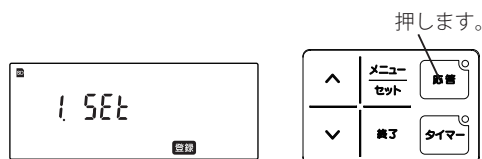
アフターサービスの場合など、バージョン情報が必要なときは、次の方法で確認してください。

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー** / **セット** を押します。



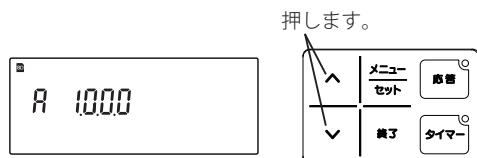
- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **応答** を押します。



- ・バージョン情報表示になります。

- 3 **↑** や **↓** を押すとバージョンが確認できます。



【バージョン表示】

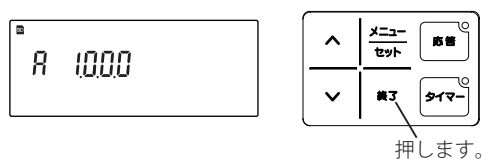


A **** : アプリケーションプログラム



L **** : ラインプログラム

- 4 **終了** を2回押して待機画面を表示します。



メモ

メッセージの操作

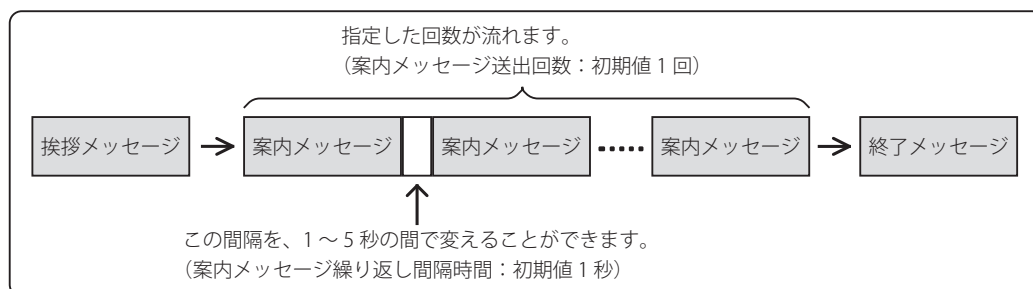
メッセージの構成

本装置は4種類のメッセージ（案内メッセージ、挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音）が録音できます。録音できるメッセージ数（ch（チャンネル））は最大23件で最大録音時間は100分です。

メッセージ種別	ch 番号 (メッセージ番号)	内容
案内メッセージ	1 ～ 20	案内メッセージで、あらかじめ番号を一つ指定して回線に流します。
挨拶メッセージ	21	挨拶メッセージで、このメッセージを録音してあると案内メッセージの前に回線に流れます。録音しないで運用することもできます。
終了メッセージ	22	終了メッセージで、このメッセージを録音してあると案内メッセージの後に回線に流れます。録音しないで運用することもできます。
保留音	23	保留音メッセージで、保留音専用です。

■ メッセージの役割

- 回線にメッセージを送出する回数を変更できます（初期値：1回）。回数の指定方法は、データ入力ソフト編の取扱説明書「機能設定を登録する 案内メッセージ送出回数」を参照してください。
- 案内メッセージを繰り返すときの間隔時間が変更できます（初期値：1秒）。間隔時間の指定方法は、データ入力ソフト編の取扱説明書「機能設定を登録する 案内メッセージ繰り返し間隔時間」を参照してください。
- 「挨拶メッセージ」と「終了メッセージ」が録音されていなくても、「案内メッセージ」は流れます。

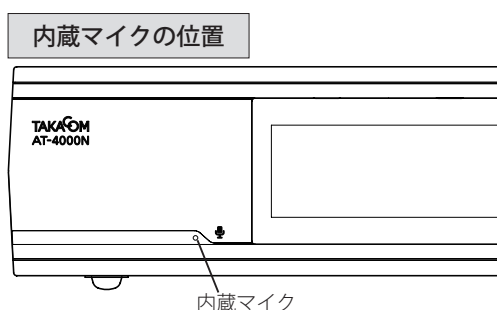


ワンポイント

- 回線に送出するメッセージで保留音だけは音量調節ができます。詳しくは26ページを参照してください。

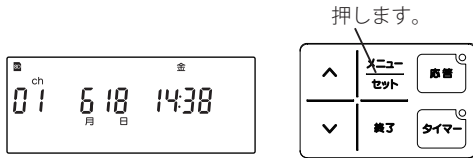
録音の準備

本装置はマイクを内蔵しているため、特別な録音用の機器を接続しなくても録音ができます。録音するときは、内蔵マイクから20～30cmの距離で話してください。



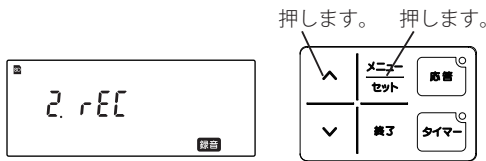
録音する

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

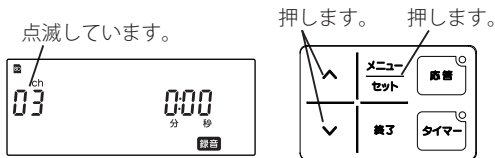
- 2 **↑** を押して、メニュー画面（録音）を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



- ・メッセージの総録音時間が表示されます。
点滅しています。 総録音時間

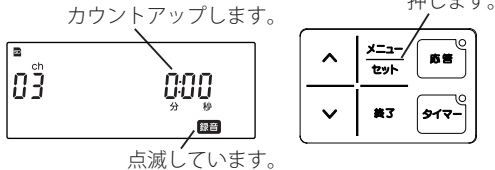


- 3 **↑** や **↓** を押して、録音する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。



- ・録音時間が点滅します。

- 4 **メニュー/セット** を押すと録音が始まります。



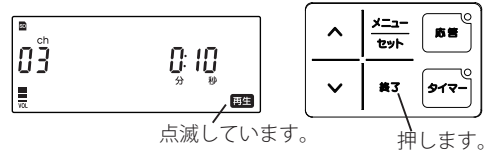
- ・録音が点滅して、録音時間がカウントされます。

- 5 **終了** を押して録音を終了します。



- ・総録音時間が 100 分になると **終了** を押さなくても自動で録音が終了します。
- ・録音が終了すると自動でメッセージが再生されます。

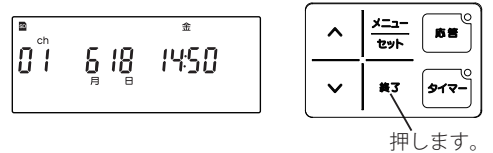
- 6 **終了** を押して再生を終了します。



- ・再生が終了すると ch 番号選択画面になります。
点滅しています。



- 7 **終了** を 2 回押して待機画面を表示します。

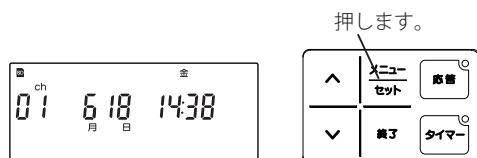


ワンポイント

- すでにメッセージが録音されている ch 番号を選択した場合は、手順3と手順4の間に登録されているメッセージの消去手順が追加されます。詳細は「消去する」(次ページ)を参照してください。

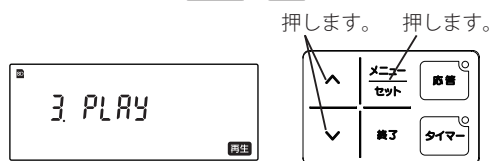
再生する

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



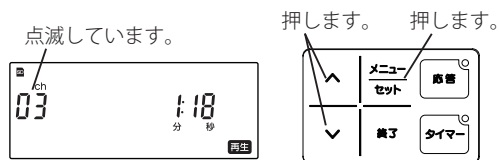
・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **↑** や **↓** を押して、メニュー画面（再生）を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



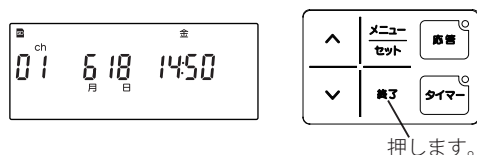
・再生 ch 選択画面が表示されます。

- 3 **↑** や **↓** を押して、再生する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。



- ・メッセージが再生されます。
- ・**終了** を押すか、再生がすべて終了すると、「ピー」と鳴って再生 ch 選択画面が表示されます。

- 4 **終了** を 2 回押して待機画面を表示します。



ワンポイント

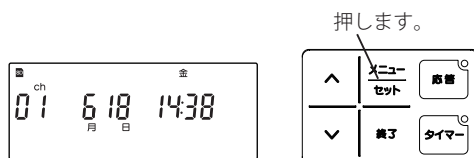
- 再生中に **↑** や **↓** を押すと、再生音量が調節できます。

音量：大 音量：小



消去する

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



・メニュー画面（登録）が表示されます。

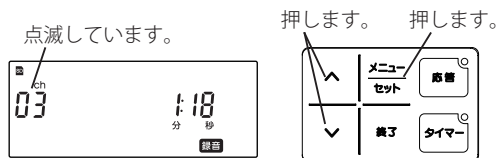
- 2 **↑** を押して、メニュー画面（録音）を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



・メッセージの総録音時間が表示されます。
点滅しています。 総録音時間

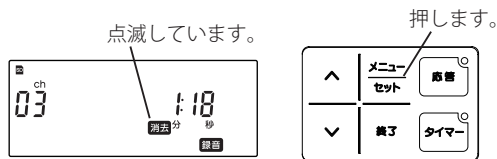


- 3 **↑** や **↓** を押して、消去する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。



・消去 が点滅します。

- 4 消去してよい場合は、**メニュー/セット** を押します。



- ・「ピー」と鳴ってメッセージが消去されます。
- ・消去中は **消去** が点灯します。

- 5 **終了** を 3 回押して待機画面を表示します。



動作ログの保存

本装置の動作ログを SD カードの LOG フォルダ内に保存することができます。動作ログは最大で最新の 200KB が保存でき、200KB を超えた場合は古い動作ログから消去されて保存されます。

動作ログについて、ファイル名は「at4000n_log.dat」、保存形式は CSV 形式、文字コードは UTF-8 で保存されます。

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。

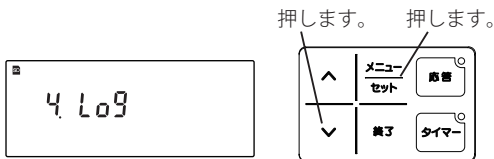


- ・メニュー画面（登録）が表示されます。

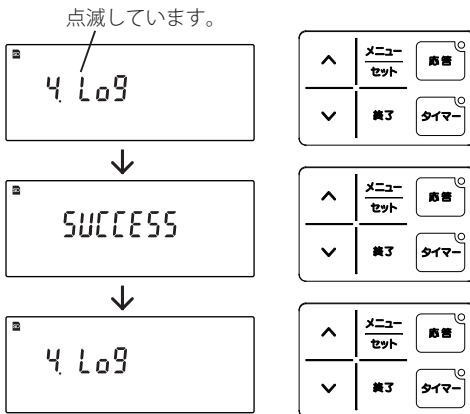
ワンポイント

- 電源の ON/OFF などでも SD カードに動作ログが保存されますが、本ページの操作をすることで、最新の動作ログが SD カードに保存できます。

- 2 **✓** を押して、メニュー画面（ログ）を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。

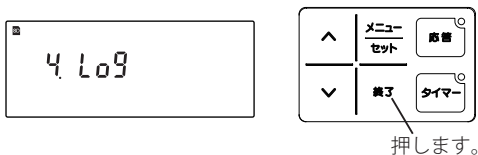


- ・メニュー画面（ログ）が点滅します。



- ・「ピー」と鳴って動作ログの出力が完了します。

- 3 **終了** を押して待機画面を表示します。

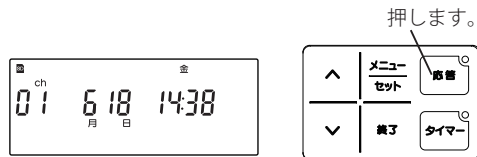


応答モードのセット／解除

相手からの電話着信時に本装置に登録したメッセージで自動応答します。

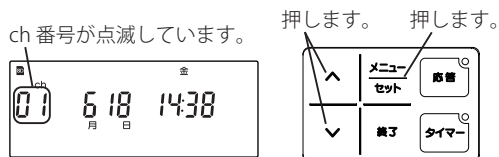
応答モードにセットする

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **応答** を押します。

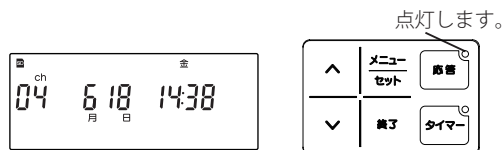


・ ch 番号が点滅します。

- 2 **↑** や **↓** を押して、応答する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。

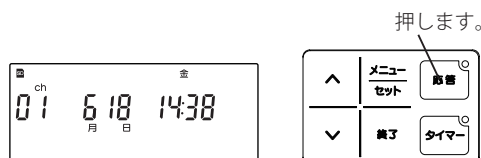


・ 応答ランプが点灯して応答モードになります。



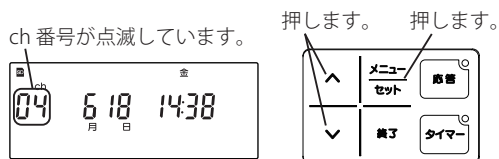
■ 応答モード中のメッセージ変更

- 1 タイマーランプが消灯している状態の待機画面で **応答** を押します。



・ ch 番号が点滅します。

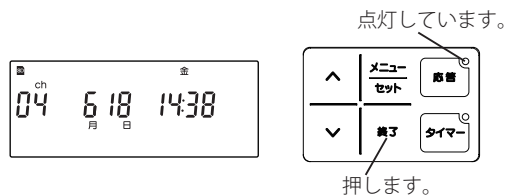
- 2 **↑** や **↓** を押して、応答する ch 番号を選択して、**メニュー/セット** を押します。



・ ch 番号が変更されます。

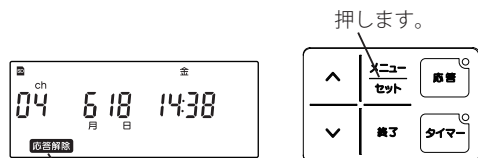
応答モードを解除する

- 1 応答モード中に **終了** を押します。

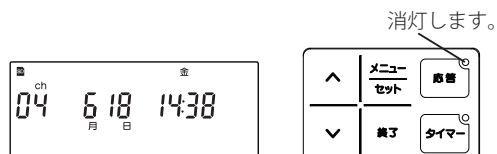


・ **応答解除** が点滅します。

- 2 **メニュー/セット** を押します。

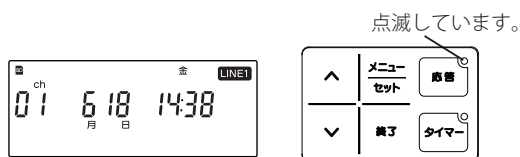


・ 応答ランプが消灯します。



● 回線応答中の応答モード解除

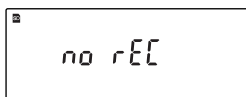
応答モードを解除したときに、応答中の回線があるときは応答ランプが点滅します。



・ 応答中の回線が切断されると、応答ランプは消灯します。

ワンポイント

- 本装置にメッセージが登録されていない場合、待機画面で **応答** を押すと、ディスプレイが以下の表示になります。



終了 を押してメッセージを登録してください。

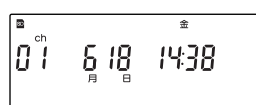
タイマーのセット／解除

制御用パソコンにインストールされた入力ソフトにより作成された日課パターンや年間スケジュールを、本装置に登録することにより、設定した時刻に応答モードの切り替えや案内メッセージの切り替えが自動で行えます。スケジュールの有効期間は、設定月から20年です。継続してご使用いただくために、有効期間内にスケジュールの更新をしてください。

また、入力ソフトの操作方法については、「データ入力ソフト編」を参照してください。

タイマーをセットする

- 1 タイマー解除中に **タイマー** を押します。



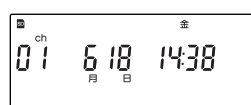
消灯しています。

押します。

・タイマーランプが点灯します。

タイマーを解除する

- 1 タイマーセット中に **タイマー** を押します。



点灯しています。

押します。

・タイマーランプが消灯します。

■ 繰り上げ応答の操作方法

タイマーが稼働（タイマーランプが点灯）していて、応答停止（応答ランプが消灯）しているときに **応答** を3秒以上長押しすると、直後のプログラムを繰り上げて応答モードで運用されます。

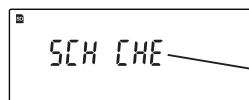


ここで **応答** を3秒以上長押しすると、17時00分のプログラムが繰り上がり、ch02で応答モードになります。

- ※ 日をまたいで繰り上げることはできません。
- ※ 繰り上げ実行後は、通常のプログラムに戻ります。
- ※ 応答モードの終了を繰り上げることはできません。

ワンポイント

- タイマー運用中の応答モードセット中にタイマーを解除すると応答モードセット状態になります。
- スケジュール期限切れの1ヶ月前になると、スピーカから警報音（「ピピッ」）が鳴って、ディスプレイは以下の表示になります。

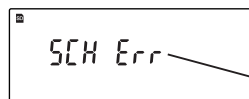


点滅しています。

このときは **終了** を押すと警報音が止まります。タイマーを解除してスケジュールを再登録してください。

（スケジュールを再登録しないと、翌日に再度警報音がなります）

- 設定されているスケジュールの期間外になると、スピーカから警報音（「ピピッ」）が鳴って、ディスプレイは以下の表示になります。



点滅しています。

このときは **終了** を押すと警報音が止まります。タイマーを解除してスケジュールを再登録してください。

保留音機能

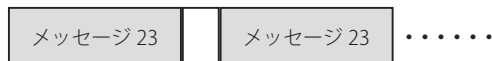
本装置に保留音として登録するメッセージを本装置の保留音出力端子から出力して、交換機やビジネスホン主装置の保留音として使用することができます。また、出力される保留音の音量が設定できます。

保留音の録音

メッセージ番号「23」が保留音として使用するメッセージです。「メッセージの操作 録音する」(21 ページ)を参照して、メッセージ番号「23」に録音してください。

ワンポイント

- 制御用パソコンの入力ソフトにてメッセージ番号「23」に音源ファイルを取り込むこともできます。
- 保留音出力端子からの保留音送出中は保留音マークが点滅します。
- 制御用パソコンの入力ソフトを使用して、保留音を繰り返すときの間隔時間を変更できます。



この間隔を0～5秒の間で変えることができます。

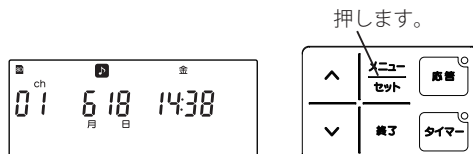
データ入力ソフト編の取扱説明書「機能設定を登録する 保留音繰り返し間隔時間」を参照してください。

- リモコン操作を含む本体装置での保留音の録音中は、保留音の送出が止まります。
(保留音以外のメッセージ録音中は保留音の送出は止まりません)
- 入力ソフトからネットワーク機能によるメッセージの書き込み中は保留音の送出が止まります。
(保留音を含むすべてのメッセージが対象です)
- 保留音の音量レベルは、00 (無音) ～ 06 (最大の7段階で設定できます (初期値: 06))

音量を設定する

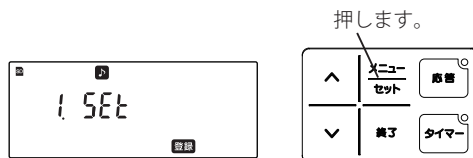
保留音が ch23 に録音されている状態で、次の手順を実施します。

- 1 応答ランプおよびタイマーランプが消灯している状態の待機画面で **メニュー/セット** を押します。



・メニュー画面（登録）が表示されます。

- 2 **メニュー/セット** を押します。



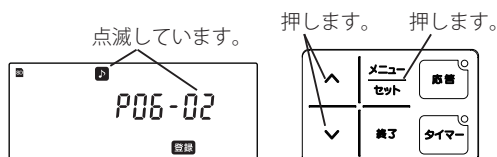
・機能番号選択表示になります。

- 3 **▼** を押して、機能番号 06 を選択したあとで、**メニュー/セット** を押します。



・音量レベルと保留音マークが点滅します。

- 4 **▲** や **▼** を押して、音量レベルを設定して、**メニュー/セット** を押します。



・「ピー」と鳴って機能番号選択表示になります。

ワンポイント

- 本装置から保留音を再生したときに出力される音量と保留音出力端子から出力される音量は異なるためご注意ください。

本装置を更新する

本装置のバージョンアップが必要なときに、本装置を更新することができます。バージョンアップファイルは、事前に当社のホームページ（<https://www.takacom.co.jp>）からダウンロードしておきます。

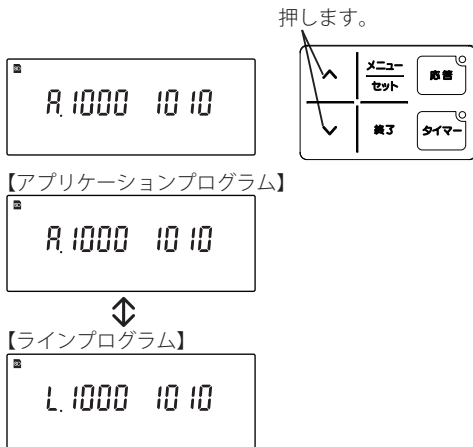
例）Ver.1.0.0.0 から Ver.1.0.1.0 にバージョンアップする場合

- 1 電源コンセントから電源アダプタを外します。
 - ・ディスプレイが消灯します。

- 2 入力ソフトを使用して作成したバージョンアップファイルが保存された SD カードを本体に挿入します。
 - ※入力ソフトについては「データ入力ソフト編」を参照してください。

- 3 **応答** を押しながら電源を入れます。
 - ・バージョンアップ画面が表示されます。

- 4 アプリケーションプログラム以外にラインプログラムもバージョンアップできる場合は、**▲** や **▼** を押して、それぞれの更新バージョンが確認できます。



- 5 **メニュー/セット** を押します。



- ・本装置がバージョンアップされます。

ワンポイント

- ネットワークが接続されている場合は、制御用パソコンから入力ソフトを使用して、直接本装置がバージョンアップできます。詳細は「データ入力ソフト編」を参照してください。
- 本体の電源を切らなくても、SD カードを抜いた状態から、**応答** を押しながら SD カードを挿入することで、手順 4 のバージョンアップ画面が表示できます。

リモコン操作をする

あらかじめ、制御用パソコンにインストールされた入力ソフトを使用して、リモコン操作をする際の暗証番号を登録することで、本装置に電話をかけて案内メッセージの録音・再生や応答モードの切り替えなど、各種のリモコン操作ができます。リモコン操作ができる回線は回線4 (LINE4) になります。回線4に電話を着信してください。また、暗証番号などを含む各種のリモコン設定については、「データ入力ソフト編」を参照してください。

リモコンの受付

1 本装置に電話をかけます。

2 《メッセージ再生中に》暗証番号を押します。
・暗証番号を受け付けると、「ピー」という信号音が聞こえ案内ガイダンスが流れます。

【案内ガイダンス】

リモコン操作が可能です。メッセージの録音は「1」を、再生は「2」を、案内メッセージの切り替えは「3」を、応答セットは「4」を、応答解除は「5」を、タイマーセットは「6」を、タイマー解除は「7」を押してください。

3 操作するダイヤルボタンを押します。
※ ダイヤルボタンによる参照先は以下になります。

- ①: 「メッセージの録音」(29 ページ)
- ②: 「メッセージの再生」(29 ページ)
- ③: 「案内メッセージの切り替え」(30 ページ)
- ④: 「応答モードのセット」(30 ページ)
- ⑤: 「応答モードの解除」(30 ページ)
- ⑥: 「タイマーのセット」(31 ページ)
- ⑦: 「タイマーの解除」(31 ページ)

4 操作が終わった場合は、電話を切断します。

ワンポイント

- リモコン操作は、プッシュ信号の出る電話機から行ってください。
- 応答モード解除中の場合は、着信から“待機時応答”の時間(「45 秒」または「90 秒」)経過したあとに本装置が応答します。“待機時応答”については、「データ入力ソフト編」を参照してください。
- 暗証番号は 1.5 秒未満の間隔でゆっくり確実に押してください。間違った暗証番号を 16 回押すと電話が切れます。
- 暗証番号を 1.5 秒以上押さないと、入力がリセットされます。
- 携帯電話のときは、リモコン信号が受け付けされない場合があります。
- リモコン操作中はディスプレイに **リモート** が点滅表示され、本体操作はできなくなります。
- ガイダンスを聞いている途中でもダイヤルボタンを受け付けます。

メッセージの録音

1 「リモコンの受付」(前ページ)の手順3まで進めます。

2 【録音するメッセージ番号を決定します】
ガイダンスに従って、録音する2桁のch番号とダイヤルボタン $\#$ を押します。

【ガイダンス】

録音を開始します。2桁のメッセージ番号とシャープを押してください。

3 【メッセージを録音します】
ガイダンスの終了後の「ピー」という信号音のあとに、メッセージを録音してください。録音が終わったらダイヤルボタン $\#$ を押します。

【ガイダンス】

信号音の後、メッセージの録音を開始します。録音が終わるときはシャープを押してください。

- ・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえます。

4 【メッセージを再生します】
録音したメッセージの内容を確認してください。途中で再生を終了する場合は、ダイヤルボタン $\#$ を押します。

【ガイダンス】

メッセージの再生を開始します。再生が終わるときはシャープを押してください。

- ・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえメッセージの再生を開始します。
- ・メッセージの再生が終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(前ページ)の手順2に戻ります。

メッセージの再生

1 「リモコンの受付」(前ページ)の手順3まで進めます。

2 【再生するメッセージ番号を決定します】
ガイダンスに従って、再生する2桁のch番号とダイヤルボタン $\#$ を押します。

【ガイダンス】

再生を開始します。2桁のメッセージ番号とシャープを押してください。

3 【メッセージを再生します】
途中で再生を終了する場合は、ダイヤルボタン $\#$ を押します。

【ガイダンス】

メッセージの再生を開始します。再生が終わるときはシャープを押してください。

- ・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえメッセージの再生を開始します。
- ・メッセージの再生が終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(前ページ)の手順2に戻ります。



ワンポイント

- メッセージの録音中に電話を切断しても、切断前までのメッセージで録音されます。

案内メッセージの切り替え

1 「リモコンの受付」(28 ページ) の手順3 まで進めます。

2 【切り替えるメッセージ番号を決定します】
ガイダンスに従って、切り替える2桁のch番号とダイヤルボタン【#】を押します。

【ガイダンス】

案内メッセージを切り替えます。2桁のメッセージ番号とシャープを押してください。

3 【メッセージを切り替えます】
1～20chが指定された場合に指定されたch番号に切り替えます。

【ガイダンス】

メッセージxxに切り替えました。
(※xxは選択したch番号)

・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(28 ページ) の手順2に戻ります。

ワンポイント

- 切り替えできるメッセージは、1～20chの案内メッセージです。挨拶メッセージ(ch21)や終了メッセージ(ch22)、保留音(ch23)には切り替えできません。
- 手順3にて録音されていないメッセージch番号を指定した場合、「メッセージの切り替えができません」のガイダンスが送出されます。

応答モードのセット

1 「リモコンの受付」(28 ページ) の手順3 まで進めます。

2 【案内メッセージ番号を決定します】
ガイダンスに従って、応答する2桁のch番号とダイヤルボタン【#】を押します。

【ガイダンス】

応答モードにセットします。2桁のメッセージ番号とシャープを押してください。

3 【応答モードにセットします】
1～20chの指定されたch番号で応答モードにセットします。

【ガイダンス】

メッセージxxに切り替えました。応答モードにセットしました。
(※xxは選択したch番号)

・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(28 ページ) の手順2に戻ります。

応答モードの解除

1 「リモコンの受付」(28 ページ) の手順3 まで進めます。

2 【応答モードの解除】
タイマー解除中は応答モードの解除ガイダンスが送出され、応答モードが解除されます。

【ガイダンス】

応答モードを解除しました。

・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(28 ページ) の手順2に戻ります。

ワンポイント

- タイマーセット中は応答モードのセット／解除はできません。応答モードを変更する前にタイマーを解除してください。

タイマーのセット

1 「リモコンの受付」(28 ページ) の手順 3 まで進めます。

2 【タイマーのセット】

スケジュールで使用する ch が登録されている場合はタイマーセットガイダンスが送出されます。

【ガイダンス】

タイマーモードにセットしました。

・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(28 ページ) の手順 2 に戻ります。

タイマーの解除

1 「リモコンの受付」(28 ページ) の手順 3 まで進めます。

2 【タイマーの解除】

タイマー解除ガイダンスが送出されます。

【ガイダンス】

タイマーモードを解除しました。

・ガイダンスが終了すると、「ピー」という信号音が聞こえ、「リモコンの受付」(28 ページ) の手順 2 に戻ります。



ワンポイント

- タイマー機能を利用して応答モードをセットしている場合、タイマーを解除しても、応答モードは解除されません。

故障とお考えになる前に

故障とお考えになる前に、次のことをお調べください。

■ 本体装置

動作	こんなときは	お確かめください	参照ページ
電源	ディスプレイの表示が消えている	電源アダプタが電源コンセントに差し込んでありますか？	10ページ
ディスプレイ	【Rrd Err】と表示される	SD カードのデータが破損しています。 SD カードをフォーマットするか、別の SD カードを使用してください。	5ページ
	SD カードを挿入すると、 【Prot Rrd】と表示される	SD カードが書き込み禁止になっていませんか？ SD カードのライトプロテクトを解除して本装置に挿入してください。	
	【no Rrd】と表示される	SD カードが挿入されていますか？	6ページ
	SD カードを挿入すると、 【no dRdR】と表示される	市販されている SD カードをそのまま使用しているか、SD カードのデータが破損している可能性があります。 入力ソフトを使用して SD カードを初期化してください。	
	【SCH HE】と表示される	登録しているスケジュールの期限切れまで 1 ヶ月になりました。 [終了] を押してアラームを止めて、スケジュールを再登録してください。	25ページ
	【SCH Err】と表示される	登録しているスケジュールの期間が 20 年を過ぎました。 [終了] を押してアラームを止め、[タイマー] を押してタイマーを解除したあとでスケジュールを再登録してください。	
録音	メッセージが録音できない	メッセージの録音時間が 100 分を超えていませんか？ 録音時間を確認してメッセージを録音してください。	20ページ
タイマー	タイマーセットできない	スケジュールが登録されていますか？ 入力ソフトを使用して、スケジュールを編集してください。 メッセージは録音されていますか？ タイマーで使用するメッセージを録音してください。	25ページ
応答動作	電話がかかってきても応答しない (かかってきた電話が切断される)	ビジネスホンの単独電話や構内交換機の内線側に接続していますか？ 本装置の接続を確認してください。	10ページ
		回線種別は合っていますか？ 本装置の設定項目における詳細設定項目「回線－種別」を“通常回線”、“ベル検出－ベル OFF 時間”を“100ms”に変更してください。	35ページ (注)
接続	ネットワーク接続ができない	IP アドレスやサブネットマスクなどは正しいですか？ 正しいネットワーク回線を使用していますか？	14 ページ 33 ページ
リモコン操作	リモコン操作ができない	回線接続ジャック (LINE4) に接続されていますか？	10ページ
		リモコン暗証番号は合っていますか？ ブッシュ信号の出ない電話機からリモコン操作をしていませんか？	28ページ
		応答モード解除中の場合は、45 秒または 90 秒着信していますか？ 「待機時応答」が“無効”に設定されていませんか？ 本装置の設定項目における回線設定項目「待機時応答」を確認してください。	34ページ (注)
		入力ソフトからネットワーク操作中ではありませんか？ [リモート] が消灯するまでお待ちください。	9ページ
本体操作	本装置が操作できない	リモコン操作中ではありませんか？ リモコン操作を終了するかリモコン操作が終了するまでお待ちください。	28ページ
保留音	保留音が出送されない	保留音出力端子や保留音起動端子が接続されていますか？ メッセージ番号 23 (ch23) に保留音が登録されていますか？	11ページ 20 ページ

(注) 参照ページは「データ入力ソフト編」になります。

主な仕様

項 目		仕 様	備 考
電話回線 (注 1)	収容回線数	最大 4 回線	
	回線種別	アナログ一般回線または構内交換機アナログ内線	
	直流抵抗値	約 270 Ω	
	接続端子	モジュラージャック	RJ-11
メッセージ	作成方法	音声合成、音声録音、音声取込	
	録音方式	リニア PCM 8kHz 16bit モノラル	
	メッセージ種別	案内メッセージ、挨拶メッセージ、終了メッセージ、保留音	
	録音時間	最大 100 分 (最大 23 件)	
データ登録	パソコン	AT-4000N データ入力ソフト (添付品)	(注 2) (注 3)
	記憶媒体	SD カード	(注 4) (注 5)
プログラム タイマー	1 日パターン	最大 20 種類	
	登録ステップ数	最大 25 ステップ	パターン毎
	曜日スケジュール	日～土の曜日指定 / 月～金の期間指定 / 月～土の期間指定	
	変動日スケジュール	第 1 ～第 5 の曜日指定	
	祝日スケジュール	国民の祝日、国民の休日、振替休日、予備日 8 日	春分の日、秋分の日自動計算 ハッピーマンデー対応
	特定日スケジュール	範囲指定	範囲指定：最大 1 か月間
	有効期間	登録した月より 20 年	
保留音出力端子	最大出力レベル	+8dBm	
	インピーダンス	8 Ω	
保留音起動端子		無電圧メーク入力 (接点容量：DC10V、10mA 以上)	
外部制御端子		無電圧メーク入力 (接点容量：DC10V、10mA 以上)	
ネットワーク	通信プロトコル	TCP/IP	
	インターフェース	10BASE-T / 100BASE-TX	コネクタ形状：RJ-45
	帯域	1Mbps 以上	
時計精度		月差 ± 60 秒	25℃、通電時
環境条件	動作時	温度条件：5 ～ 40℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
	保管時	温度条件：-10℃ ～ 50℃ 湿度条件：20 ～ 85%	結露のないこと
VCCI		クラス A	
RoHS 指令		適合	
電源	電源	AC100V ± 10V、50/60Hz	専用電源アダプタ
	消費電力	最大 5W	
	停電バックアップ	年月日・時刻は約 7 年	
外観	外形寸法	260mm (幅) × 220mm (奥行) × 68mm (高さ)	ゴム足含まず
	質量	約 1Kg	本体

(注 1) 本装置はアナログ回線 (アナログ一般回線または構内交換機アナログ内線) に対応しています。ひかり回線をご使用の場合は、アナログ回線に変換してお使いください。

(注 2) 対応 OS：Windows 11/10

(注 3) Windows 11/10 の S モードおよび ARM 版 Windows 11/10 は対象外となります。

(注 4) 市販の SD カードを使用する場合の使用可能な SD カード：

- ・容量：1GB ～ 32GB (容量の違いでメッセージの録音可能時間は変わりません)

(注 5) UHS-III は使用できません。

保証とアフターサービス

- 本書は、下記記載の保証条件で無償修理を行うことをお約束するものです。保証期間内に故障した場合には、本書を提示のうえ、お買い上げ店または当社修理センターに修理をご依頼ください。
- 保証期間後の修理は、修理によって機能が維持できる場合は、ご要望により有償修理いたします。お買い上げ店または当社修理センターへお問い合わせください。
- 本品の故障・誤操作または不具合により、発着信などにおいて利用の機会を逸したために発生した損害等の付随的損害の補償については、当社は一切その責任を負いませんのであらかじめご了承ください。

保 証 書		
型名		4 回線音声応答装置 AT-4000N
保証期間		お買い上げ日より 1 年間
お買い上げ日		年 月 日
お 客 様	お名前	様
	電話番号	() —
	ご住所	〒
販売店名／住所／電話番号		

保証条件

- 1 保証書記載の保証期間内に、取扱説明書などに従った正常なご使用状態で故障した場合には、お買い上げ店または当社修理センターが無償修理いたします。
- 2 保証期間内に故障して無償修理を受ける場合には、お買い上げ店または当社修理センターに製品と本書をご持参またはご送付ください。尚、修理で依頼のご持参、お持ち帰りの場合の交通費、またご送付される場合の送料費用などはお客さまのご負担となります。
- 3 保証期間内であっても、次の場合は有償修理となります。
 - ① 保証書の提示がない場合
 - ② 保証書にお買い上げ日、お買い上げ店印がない場合
 - ③ 保証書記入箇所の字句を書き換えられた場合
 - ④ 誤ったご使用方法で故障または損傷した場合
 - ⑤ 輸送・移動中の落下などお取り扱いが適当でないために生じた故障または損傷の場合
 - ⑥ 火災・地震・水害・雷害などの天災地変およびその他の特殊な外部要因によって故障または損傷した場合
 - ⑦ 本製品に異常がなく、本製品以外の部分（例えば、電話線・電源・他の機器など）の不良を点検または改善した場合
 - ⑧ 不当な修理や改造をしたために故障または損傷した場合
 - ⑨ 消耗品を交換した場合
- 4 この保証書は、日本国内においてのみ有効です。
This warranty is valid only in Japan.
- 5 この保証書は、再発行いたしませんので大切に保管してください。
- 6 ご贈答品、ご転居後の修理については、当社修理センターにご相談ください。

使い方・取付け方などのご相談

- お電話から
お客様相談センター

 **0570-03-8811**

受付時間：月～金 9:00～17:30
(土・日曜日、祝日、当社指定休日除く)

- ホームページから

「よくあるご質問」をご覧ください。
「お問い合わせ」のフォームよりご相談ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム よくあるご質問

検索

修理に関するご相談

- お買い上げの販売店様または
当社「修理センター」へお問い合わせください。

当社へのお問い合わせ先はホームページ「修理センター」をご覧ください。

<https://www.takacom.co.jp>

タカコム 修理センター

検索

株式会社 **タカコム**

本社・工場／〒 509-5202 岐阜県土岐市下石町西山 304-709